【梶原工務店】がつくった
西区在住／Wさんの住まい

″和と洋″、″技術と感性″が調和 笑顔があふれるやさしい木の家

創業30年、八女市を中心に数々の実績を持つ［梶原工務店］。その確かな技術と、時代を見据える新しい感性で3人家族のWさん一家の家づくりをお手伝い。家族がより仲良しになれたという空間が生まれた…。

キッチンの後ろには、縦格子が好きだという奥さまが描いたスケッチ通りの棚が造作された。リビングの入口に使用した大黒柱は材木店を営む奥さまのお父様が用意した磨き丸太を使用。カウンターは朝食時に便利とのこと

木がふんだんに使われイメージ通りに完成した家

「見学会に行って、木がふんだんに美しく使われていることに魅力を感じました」。そこからWさん夫妻と［梶原工務店］との家づくりは始まった。「とにかく木をたくさん使ってほしいこと、平家で空間を広くしたいこと、風通しがいいこと、窓からの光で明るいことをお願いしました」。室内に入ってすぐに感じる木のいい香りとやわらかな空気感、明るいリビングダイニングの開放感…お二人が大満足する家が生まれた。さらに、奥様が書かれた『こんな家にしたい』リストの細かな項目もすべて実現されている。「ずい分とわがままを聞いていただきました（笑）。初めからがっちり決め込むのではなく、建設中もその都度に相談や

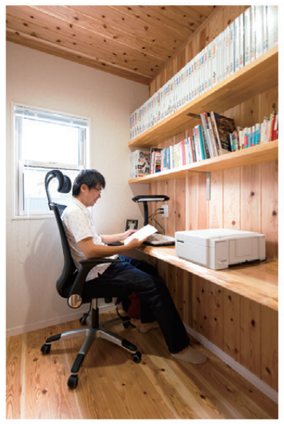
何度も塗ることで質感を高めた白い壁と、木の色合いが美しい外観。屋根は洋瓦でスッキリとした印象に

私のすきな場所

［リビング］

「畳を敷いて、足を伸ばして座れるリビングにしたかったんです」というお二人。テーブルも大黒柱同様、奥さまのお父様が用意した一枚板を［梶原工務店］が丹念に加工した

右／玄関正面の壁には落ち着いた色合いのエコカラットが飾られている。 左／壁の珪藻土は黄色みを帯びた繊細な色合い。“和”のテイストを醸す



「締まった空間で落ち着きますし、仕事を行なう時にはかどりますね（笑）」という書斎

先々のことを考え、ウォークインクローゼットをはさむように2つの寝室を配置

琉球畳やミンサー柄をあしらった襖など「沖縄色を出したい」という奥さまの希望に応えた和室

モザイクタイルを使用した洗面台は造作で可愛らしい雰囲気に

経験と新しい感性の融合 和と洋が調和したデザイン

玄関から廊下、和室へとつながる宿を思わせる洗練された空間。そしてリビングに足を踏み入れるとカウンターを配したカフェのようなキッチンと、まわりに畳を置いた掘りごたつ式のダイニングテーブル。おふたりの希望が取り入れられた空間は、和と洋が絶妙に調和したデザインだ。「梶原工務店」の中心は梶原さん親子。お二人で真剣に話し合っている姿を何度も見ました。お父様の長年の経験がつくり出すものと、息子さんの新しい感性から生まれるものがいいバランスなのだと思います」。

家づくりを行なう中で、多くの会話を積み重ねたというWさん夫妻。家族はさらに仲良しになったとのことで、ご主人は「家族が同じ空間にいる時間が長くなりましたね」。奥様は「毎日、主人が帰ってくるのが楽しみになりました（笑）」。そこには、［梶原工務店］が一番大切にしている〝お客様の笑顔〟があふれていた。

提案があったので安心できました。キッチン後ろの棚は、当初の予定を変えて私が簡単なイラストを描いたのですが、そのイメージ通りにできあがって感動しましたね」。［梶原工務店］が常に目指しているのは〝お客様のため〟の仕事だ。

無垢の木、珪藻土、柿渋を塗った天井の木…質感と色合いが調和した空間は、宿のような高級感を感じさせる

COMPANY DATA

梶原工務店

福岡県八女市新庄1003-5

連絡先
0120-077-187

HPアドレス
www.kajiwara-koumuten.com

詳しい情報は 00ページに掲載